

キャリア形成プログラム（自由ヶ丘高校）

当財団では、高校生のうちから「働く」ということを考えていただくために、キャリア形成プログラムを作成し出前講座を行っています。今年度は、9月17日に自由ヶ丘高校にて、プログラムを使った講義と若手社会人ロールモデルによるトークセッションを実施しました。

参加者：自由ヶ丘高校3年生 200名

日時：2016年9月17日（土）8：55～10：45

（リバティ・キャリアプラン内、10分休憩を含む）

講師：松本幸一（九州国際大学准教授）

山脇直祐（九州共立大学等講師）

社会人パネリスト：橋本百世、矢津田大翔、渡邊葉

【実施内容】

まず前半の50分は、自由ヶ丘高校の3年生の皆さんに「働くこととはどういうこと？」「社会のリアルな課題とは？」について考えてもらうために、大学の先生による講義を行いました。

その後、トークセッションを開催しました。ここでは、進学・就職と今後高校生の皆さんが迎えるであろう人生の分岐点を経験してきた3名の社会人の先輩をお迎えし現在の仕事や大学生活について具体的な話をさせていただきました。中には、「進路に悩んだ時どうしたのか」「大学時代に何をしていたか」等のメッセージもありました。

プログラムの最後には、質疑応答を行いました。高校生の皆さんからは、「入試のこと」「留学のこと」「部活と勉強の両立」「恋愛のこと」・・・様々な分野の質問があり、多いに盛り上がりました。

プログラム修了後に高校生の皆さんからいただいたアンケートでは、

- ・自分が将来やりたいと思ったことを突き通して実現した話が凄かった。
- ・このセミナーを聞いて、将来について今まで以上に考えることができた。
- ・もっと話がききたかった 等の感想をいただきました。

また、社会人パネリストの皆さんからは、

- ・「進路を決める上でみなさん悩むことも多いと思いますが、自分の気持ちが一番大事になってくると思います。漠然とでもいいので、これからどんなことがしたいとか、何に興味があるとか、自分の気持ちをしっかり見つめて進路選びをしてください。先生や家族など、アドバイスをくれる人はたくさんいると思います。でも、その道を進むのは自分自身なので、後悔の無いように頑張ってください。」
- ・「少しでも大学進学に興味がある方は是非進学をオススメします。大学は勿論勉強をするところ

ろですが、それ以上に様々なことを経験できる場となります。講義で学ぶこと以上に重要なことも大学生には経験できます。その経験値が仕事を探す上で、将来を探す上で様々な選択肢を広げてくれます。自分の将来に迷っている人こそ、とにかく一歩前に進んで見るが大切です。」

- ・「大学は高校とはかなり異なります。自ら動かなければ、誰も助けてくれません。大学では授業以外のことを多く学ぶことができます。例えば、時間割などは卒業単位が取れるように管理しなければなりませんので、自己管理が大事になってきます。これは社会人にとってとても重要なことです。知識や資格ももちろんですが、社会人になる前のステップを踏める場所だと感じています。」

というメッセージをいただきました。

今日のこの場が、高校生の皆さんの「学び」と「将来の仕事」について考えるきっかけとなることを願っています。



講義（松本先生）



講義（山脇先生）



若手社会人ロールモデルによるトークセッション